

## 2021年度第1回小倉競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ 小郡特別

小郡（おごおり）は、山口県山口市にある地名。江戸時代には山陽道の宿場町として栄え、昭和50年に山陽新幹線、58年に中国自動車道が開通し、山口県の玄関口として重要な役割を果たしている。

なお、同地にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ小郡がある。

#### ○ 虹の松原ステーキス

虹の松原（にじのまつばら）は、佐賀県北西部の唐津湾沿岸に広がる松原。日本三大松原のひとつ。防風・防砂・防潮のために唐津藩主寺沢広高が海岸線の砂丘に黒松を植林したのが始まりと伝えられる。遠近のどちらから眺めても唐津湾の海・空と松原とのコントラストが美しく、訪れる人の心を常にとらえている。

#### ○ 響灘特別

響灘（ひびきなだ）は、福岡県の北東方、山口県の西方の海域。西は玄界灘に続き、冬季は季節風が強く吹くことから、古来より大陸への重要航路であったとされる。沿岸には古代の遺跡が多く見られ、中国大陸や朝鮮半島との交流が深かったことを今に伝えている。

### <第2日>

#### ○ 呼子特別

呼子（よぶこ）は、佐賀県唐津市の地名。一帯は玄海国定公園で海中公園地区があり、名勝・史跡も多い。呼子湾では、イカをはじめとした漁業が盛んに行われ、朝市には多くの観光客が訪れる。

#### ○ 門司ステーキス

門司（もじ）は、北九州市の区。同地区は、九州の北端に位置し、関門海峡を隔て、山口県下関市と相對している。門司港は、国際貿易港として繁栄し、旧門司三井倶楽部や旧門司税関などの歴史的建造物を活かした「レトロの街」としても知られ、北九州市の代表的な観光名所となっている。

#### ○ 宇佐特別

宇佐（うさ）は、大分県北部にある市。昭和42年に駅川町、四日市町、長洲町、宇佐町の4町が合併して市制施行。市内には、全国に約4万社余りある八幡宮の総本宮宇佐神宮がある。

## <第3日>

### ○ 萌黄賞

萌黄（もえぎ）は、萌え出た若葉のような冴えた黄緑系統の色。古来より用いられ、平安時代には若者向けの色とされた。

### ○ 小倉城特別

小倉城（こくらじょう）は、北九州市小倉北区にある城。戦国時代末期に毛利氏が築城したのが始まりとされる。昭和34年に現在の天守閣が再建され、平成10年には城内下屋敷跡に江戸時代の大木屋敷を再現した小倉城庭園が完成した。

### ○ 宝満山特別

宝満山（ほうまんざん）は、大宰府と筑紫野市にまたがる山。別名「竈門山（かまどやま）」「御笠山（みかさやま）」とも言う。古来より神が降り立つ山として崇められ、平成25年には、日本の山岳信仰を知る上で重要な山として国の史跡に指定されている。

## <第4日>

### ○ 秋吉台特別

秋吉台（あきよしだい）は、山口県西部の美祢市を中心とする石灰岩台地。狭義には台地中央を貫流する厚東川以東の国定公園地区を指す。日本最大のカルスト地形として知られ、古生物学・構造地質学上でも重要視されている。特に日本一の規模を誇る鍾乳洞は観光地としても有名。

### ○ 豊前ステークス

豊前（ぶぜん）は、旧国名で、現在の福岡県東部と大分県北部に当たる地域。また、福岡県東部の周防灘に臨む市。沿岸漁業・海苔の養殖のほか、金属・電子工業などが発達している。内陸では米・果樹・茶などの栽培が盛ん。

### ○ 海の中道特別

海の中道（うみのなかみち）は、福岡市東区にある玄界灘と博多湾を区切る砂州。架橋で志賀島と結ばれている。江戸時代に植えられたクロマツによる白砂青松の景勝地で、志賀島とともに玄海国定公園の一部を形成する。国営の「海の中道海浜公園」を始め、水族館「マリンワールド」などがあり、行楽地となっている。

## <第5日>

### ○ 牛若丸ジャンプステーキス

牛若丸(うしわかまる)は、源平合戦で大活躍した源氏の武将、源義経の幼名。義経は、壇ノ浦の戦いで敵将平教経と遭遇した際に、舟と舟との間を飛び移ったとされ、その距離が舟八艘分もあったことから「八艘飛び」の名で知られている。

### ○ 脊振山特別

脊振山(せぶりさん)は、福岡県と佐賀県の境にある脊振山地の主峰で、標高1,055mの山。頂上には脊振神社がある。また、鎌倉時代に栄西禅師が宋の茶を移植したことで知られ、日本茶栽培の発祥地とされる。

### ○ 周防灘特別

周防灘(すおうなだ)は、瀬戸内海最西部に位置する水域。瀬戸内海にある灘の中では最も水域が広い。山口県南岸と九州北東岸に囲まれ、西は関門海峡で響灘に通じ、東は祝島と国東半島北方の姫島を境として伊予灘に接する。

### ○ 有田特別

有田(ありた)は、佐賀県西部、有田川の上中流域を占める西松浦郡の町。有田焼の産地として知られ、例年大規模な陶器市が開かれる。有田の陶業は、朝鮮出身の陶工・李参平が元和2年(1616年)泉山で良質な白磁鉢を発見し、日本で初めて磁器を焼くことに成功したとされている。

## <第6日>

### ○ 合馬特別

合馬(おうま)は、北九州市小倉南区の地名。名は、大化の改新により「駅伝の制」が導入された際、都と全国の国府を結ぶ幹線道路上の駅に、官吏公用で諸国へ行く者の為に備えられていた馬(駅馬)が、当地にて落ち合い鼻を突き合わせたことに由来する。なお、周辺の竹林で採られる筍は「合馬たけのこ」として知られる。

### ○ 巖流島ステーキス

巖流島(がなりゅうじま)は、山口県下関市、関門海峡に浮かぶ船島の別名。宮本武蔵と佐々木小次郎が決闘した場所として有名。巖流島を遠望する北九州市小倉北区の手向山(たむけやま)公園では、両剣聖を偲んで「武蔵・小次郎まつり」が開催される。

### ○ 開聞岳特別

開聞岳(かいもんだけ)は、鹿児島県薩摩半島南端に位置する火山。標高924m。その見事な円錐形から薩摩富士とも呼ばれ日本百名山のひとつとされている。

## <第7日>

### ○ かささぎ賞

かささぎ（鶺鴒）は、スズメ目カラス科の鳥。佐賀県の県鳥。「カチカチ」という鳴声から、カチガラスとも呼ばれる。日本では、佐賀平野を中心とした地域に生息しており、それらの地は国の天然記念物に指定されている。

### ○ 玄海特別

玄海（げんかい）は、玄界灘に面する地名。リアス式の海岸部は国定公園に指定されている。玄界灘は、対馬海流が流れ、日本近海でも有数の漁場である。西は対馬海峡、東は響灘に連なる。

### ○ 角島特別

角島（つのしま）は、山口県下関市の日本海上に浮かぶ島。架け橋である角島大橋は、長さ1,780mの雄大さを誇り、昼間は透明度の高い海と調和した景観を、夜間はライトアップされた幻想的な風景を楽しむことのできる景勝地として知られる。

## <第8日>

### ○ 波佐見特別

波佐見（はさみ）は、長崎県中央部、東彼杵郡の町。波佐見焼の産地として知られている。400年以上の歴史がある波佐見焼は、江戸時代後期には日本一の磁器生産量を誇り、日本の器・食文化の発展に大きな影響を与えた。

### ○ 関門橋ステーキス

関門橋（かんもんきょう）は、北九州市と下関市を結ぶ関門高速道路が走る吊り橋。全長1,068m、幅26mで桁下は61m。昭和43年に着工し、48年に開通した。

### ○ 平尾台特別

平尾台（ひらおだい）は、福岡県北東部に位置する石灰岩台地であり、日本三大カルストと呼ばれる。国の天然記念物に指定されており、北九州を代表する観光地のひとつとなっている。